

令和7年2月19日

各講座・学科目、各センター及び
病院各部・センター（室）等の長 殿

研究技術支援センター長 川 辺 淳 一

令和7年度研究技術支援センター実験実習機器技術支援部門の
設備の使用申請について（照会）

標記のことについて、令和7年度において当該設備を利用する場合、設備の使用申請が必要となります。

つきましては、下記により、別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」を作成のうえ、期限までにご提出ください。

なお、本申請は単年度毎のため、申請区分は「新規」を選択していただきますようお願いいたします。

記

1. 提出方法： 以下のURLから様式をダウンロードのうえ作成し、
申請書提出専用メールアドレス宛にご提出ください。

- ・研究技術支援センター実験実習機器技術支援部門 ≫ 各種申請書（学内限定） ≫ 使用規程に関わる書類

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/central/local/applications/>

- ・申請書提出専用メールアドレス： kiki_shinsei@asahikawa-med.ac.jp

2. 提出期限： 令和7年3月10日（月）（厳守）

以上

【お問い合わせ先】

研究技術支援センター 実験実習機器技術支援部門
担当：千葉（内線：2623）
笹島（PHS：7200）

実験実習機器技術支援部門の設備の使用・委託申請の方法

1. 別記様式第1「設備の使用又は委託申請書」の記入要領

- ①新年度の申請の場合、申請区分は「新規」を選択してください。
- ②実験実習機器センターの機器・設備（裏面に記載のものに限らず、全てが対象）を使用又は委託する場合、提出してください。機器・設備に関しては、実験実習機器技術支援部門HPをご覧ください。
- ③裏面の「2. 期間利用料金の流用依頼」のリストにある機器・設備を使用する場合、該当する設備にチェックしてください。使用期間は、通期又は半期（前期：4～9月、後期：10～3月）を選択できます。
なお、フリーザー室・培養室・P2実験室・BSL実験室については、初めて使用する場合、事前にお問い合わせください。
- ④年度途中で申請内容を変更する場合、既に承認を受けた申請書（写しを返却します）を参考のうえ、変更箇所のみ記載（追加：黒字、削除：赤字）して、提出してください。

2. P2実験室又はBSL実験室を使用する場合、以下の申請書も提出してください。

P2実験室 ☐ 別記様式第4-1「P2実験室の使用申請書」

BSL実験室 ☐ 別記様式第4-2「BSL実験室の使用申請書」

3. 学外者（民間企業その他の法人所属者⇒例 一般社団法人〇〇〇、第〇回〇〇学会 〇〇会等）が設備使用・委託する場合、本申請書とは別に以下の申請書を提出してください。

例 ポスター出力室 大判プリンタ ☐ 別記様式第2「設備使用・委託 申込書」

4. 全ての申請書は以下のURLよりダウンロードできます。

研究技術支援センター実験実習機器技術支援部門 ≫ 各種申請書（学内限定） ≫ 使用規程に関わる書類

<https://www.asahikawa-med.ac.jp/central/local/applications/>

記入例 別記様式第Ⅰ「設備の使用又は委託申請書」

新規申請（表面）

申請者は、料金の支払い責任、使用責任者及び使用者の監督責任を負うことをご確認ください（規程参照）。

設備の使用又は委託申請書

研究技術支援センター長 殿

申請日2024年00月00日

申請者講座等名〇〇講座〇〇分野〇〇部門

氏名機器 太郎

内線〇〇〇〇

申請年度	2024 年度		
申請区分 (該当に☑)	☒ 新規	☐ 変更（追加） (承認番号)	☐ 変更（削除） (承認番号)

(注意事項)

1. 変更申請の場合は、下記項目 1 及び 2 の変更箇所のみ記載してください。
(追加は黒字、削除は赤字で記載してください。)

2. 本申請書は、講座等の単位で作成してください。

1. 使用又は委託する者（使用者）の申請

下記のとおり、実験実習機器技術支援部門の機器・設備の使用者を申請します。

使用責任者	純水 装子
使用者	製氷 機太 電子 顕子 培養 室太 質量 分子（大学院 3 年） 蛍光 顕太（医学科 4 年）

使用責任者は申請者を兼ねても構いません。

実験実習機器センターの設備を使用する全員を記入してください。
(大判プリンター、顕微鏡 等の全ての設備が対象です。)

(備考)

(注意事項)

1. 使用又は委託に当たっては、「旭川医科大学研究技術支援センター実験実習機器技術支援部門が管理運用する共同利用設備の使用に関する規程（当センター実験実習機器技術支援部門のホームページに掲載）」を遵守してください。

2. 申請年度の機器・設備の使用者を全員記入してください。

3. 学生の場合は、学年を氏名の後に明記してください。

記入例 別記様式第Ⅰ「設備の使用又は委託申請書」

新規申請（裏面）

- 使用を希望する機器・設備にチェックを入れてください。
（このチェックに基づいて、利用料金を流用します。）
- 使用希望の期間は、通期又は半期（ごと）のいずれかを選択できます。

2. 期間利用料金の流用依頼

下記のとおり、期間用料金がかかる機器・設備の利用及び料金の流用を申請します。

機器・設備	(半期利用料)	(該当するものに☑)		
		通期 (1年間)	前期 (4～9月)	後期 (10～3月)
電子顕微鏡	(25,000円)	☒	☐	☐
超純水装置	(7,500円)	☒	☐	☐
製氷機	(2,500円)	☐	☐	☐
フリーザー室	(12,000円 × 1台)	☒	☐	☐
オートクレーブ	(5,000円)	☐	☐	☐
乾熱滅菌器	(5,000円)	☐	☐	☐
培養室	(15,000円)	☐	☐	☐
培養室・持込機材有	(45,000円)	☐	☒	☐
P2実験室	(72,000円)	☐	☐	☐
P2実験室・持込機材有	(102,000円)	☒	☐	☐
BSL実験室	(72,000円)	☐	☒	☒
BSL実験室・持込機材有	(102,000円)	☐	☐	☐

新規にこれらを使用する場合は、事前にお問い合わせください。

1年間の料金を一括流用

半期ごとに料金を流用

フリーザー室	ディープフリーザー（電源 100V 単相、15A）
培養室	クリーンベンチ、インキュベーター、冷蔵庫
P2実験室	インキュベーター
BSL実験室	

(注意事項)

1. 本流用依頼の申請に基づき、期首に利用料を申請講座等の経費から流用します。
2. 機材持込に関しては、設置場所・電源容量等に限りがあるため事前にお問い合わせください。

「P2実験室」又は「BSL実験室」を使用する場合は、本申請書の他に、「P2実験室の使用申請書」又は「BSL実験室の使用申請書」も提出してください。

上記申請について、承認します。	承認番号 _____ 号
20 ____ 年 ____ 月 ____ 日	研究技術支援センター長
(備考)	